

見直しに関するワークシート

資料 4 (例示)

No.	例	分野	23	基本政策	31	基本施策	2
基本施策名		緑化の推進					
政策企画課 所見	取組No.	2 個人宅の緑化の推進					
	具体的な取組名	生垣設置補助など個人住宅の緑化を促進					
	【廃止】 補助を廃止し、普及啓発にシフトできないか。 ・生垣補助の利用者が数年間実績ゼロ ・「個人宅の緑化の推進」の取組み自体は緑化の促進に寄与するため必要						
総合計画等審議会におけるご意見							
【1】 見直しが可能 という視点から のご意見	<p>ここでは、見直し<u>できるとすれば</u>どの部分か、どのような理由で可能と考えるか、ご意見をお願いします。</p> <p>見直しについては、「廃止」という意味合いだけでなく、「縮小」や「縮減」についても含むものとしてご審議ください。</p>						
【2】 見直しできない という視点から のご意見	<p>ここでは、見直し<u>できないとすれば</u>、どの部分で、どのような障壁が生じているか、また、見直した場合にどのようなハレーション（周囲への悪影響等）が起こることが考えられるか等についてご意見をお願いします。</p> <p>・障壁等について、具体的に想定できる場合は例示をいただければ幸いです。</p>						
【3】 班としての結論	<p>【1】、【2】の議論を踏まえ、対象の施策や取組の今後の方向性について、班としてのご意見を願います。</p> <p>※今回はデモンストレーションとなります。</p> <p>※<u>今回の結論が則ち事業に反映されるものではありません。</u></p>						

見直しに関するワークシート

資料 4 - ①

No.	①	分野	8	基本政策	11	基本施策	1
基本施策名		幼児からスポーツに親しむ環境整備					
政策企画課 所見	取組名	2 子ども達がスポーツできる場所の充実					
	具体的な取組名	学校体育施設開放事業充実の検討（学校プール開放事業）					
	<p>○学校プール開放事業の廃止又は縮減の方向性で検討が必要と考える 【考えに至った理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士見ガーデンビーチは、少子高齢化・余暇活動の多様化・気象状況の変化等を背景とし、利用者数が減少傾向にあったことから、公共施設としての当初の役割を果たしたと結論付け閉園を決めた。 ・スポーツ振興としてのプール開放は、民間にもスイミングスクールがあるため行政としてのカバーは不要と考える。 ・各学校による判断の下、在校児童生徒のニーズに応え開放する形が望ましいと考える。 						
総合計画等審議会におけるご意見							
【1】	見直しが可能 という視点からのご意見						
【2】	見直しできない という視点からのご意見						
【3】	班としての結論						

見直しに関するワークシート

資料4 - ②

No.	②	分野	2	基本政策	2	基本施策	1
基本施策名		社会生活を円滑に営むための支援					
政策企画課 所見	取組名	3 学習の支援					
	具体的な取組名	子どもの居場所づくりの支援（家庭学習応援事業）					
	<p>○家庭学習応援事業の廃止又は縮減の方向性で検討が必要と考える 【考えに至った理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市及び県の事業であるアスポート、ジュニア・アスポート事業（生活困窮者対象）や、民間のNPOによる学習支援の場があり、家庭学習を支援するための取組が一定程度整っている。 ・上記のとおり家庭学習を支援する枠組みがある以上、市として、この予算をかけて、学校以外の学習の場の提供を継続していく必要はないものとする。 						
総合計画等審議会におけるご意見							
【1】							
見直しが可能 という視点から のご意見							
【2】							
見直しできない という視点から のご意見							
【3】							
班としての結論							

見直しに関するワークシート

資料 4 - ③

No.	③	分野	21	基本政策	27	基本施策	2
基本施策名		鉄道駅周辺の安全性の向上					
政策企画課 所見	取組名	2 放置自転車の抑制					
	具体的な取組名	放置自転車等の指導・整理員による指導・整理					
	<p>○放置自転車等の指導・整理を縮減する方向性で検討が必要と考える (試験的に決められた期間において、実施頻度や人員を削減し影響分析を行う) 【考えに至った理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車数が半減し、KPIである満足度も目標値以上となっている現状を踏まえ、対応頻度等について縮減の余地があるものとする。 ・人口減少、コロナによるテレワークの普及等による駅前の駐輪場利用のニーズの変化を適切に把握し、状況に応じた効果的・効率的な事業としていく必要がある。 						
総合計画等審議会におけるご意見							
【1】							
見直しが可能 という視点から のご意見							
【2】							
見直しできない という視点から のご意見							
【3】							
班としての結論							